

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

資産循環型ビジネスとホテル運営事業の安定収益をベースに経営基盤の安定化を図り、プライム市場を目指す

上場リート拠出パイプ
3,000億円

1株当たり普通配当金
20円00銭

② 中長期の経営戦略

1. 資産循環型ビジネスの構築

バリューアップした投資物件を当社組成リートに組み込み、得た資金を次プロジェクトに充当。受託資産積み上げとリート成長を実現

3. 新規運営受託の本格展開

ラグジュアリーホテルだけでなくミッドクラスホテル運営数も拡大。日本の観光都市における成長余地を活用

2. ホテル事業力の強化

グローバルラグジュアリーブランドの運営ノウハウ活用。コスト構造見直しで安定した収益獲得を目指す。2025年秋新規開業予定

4. ホテル以外アセットの取得拡大

オフィスや商業施設等の取得実績を生かし、不動産事業パイプラインを拡充

③ 対処すべき課題

① コスト増加への対応

- ・物価上昇、円安、実質金利引き上げによる急激なコスト増に対応
- ・売却価格・宿泊価格への適切な反映と徹底したコスト管理
- ・資金調達の多様化による対応

② 建設工事遅延への対処

- ・建設業界の人手不足とコスト増による契約遅れ・工期遅延が懸念
- ・ゼネコンとの開発・建築工事費用高騰への対応が重要

③ プライム市場上場に向けた株式流動性向上

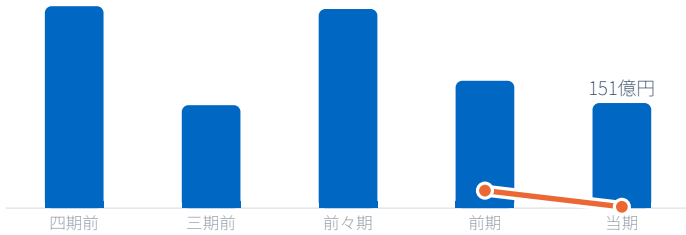
- ・特定株主の保有比率が高く流動性が不十分
- ・株式分割・新株予約権発行で徐々に改善中
- ・戦略的資本提携先開拓で株主構成多様化を検討

面接で使えるポイント

- ・資産循環型ビジネスで拠出パイプライン3,000億円を目指し、受託資産積み上げとリート成長を実現する戦略
- ・グローバルラグジュアリーブランドの運営ノウハウを活用しホテル事業を強化。2025年秋新規開業予定
- ・物価上昇・円安への対応として売却価格・宿泊価格への適切な反映とコスト管理を推進中

証券コード 3772

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
151億円営業利益率
▲0.7%財務健康度
49点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 45.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
703万円
不動産業内 70位/130社平均年齢
36.8歳
不動産業内 88位/131社平均勤続
2.3年
不動産業内 122位/131社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ウェルス・マネジメント[3772]: 株主優待制度の一部変更 (

